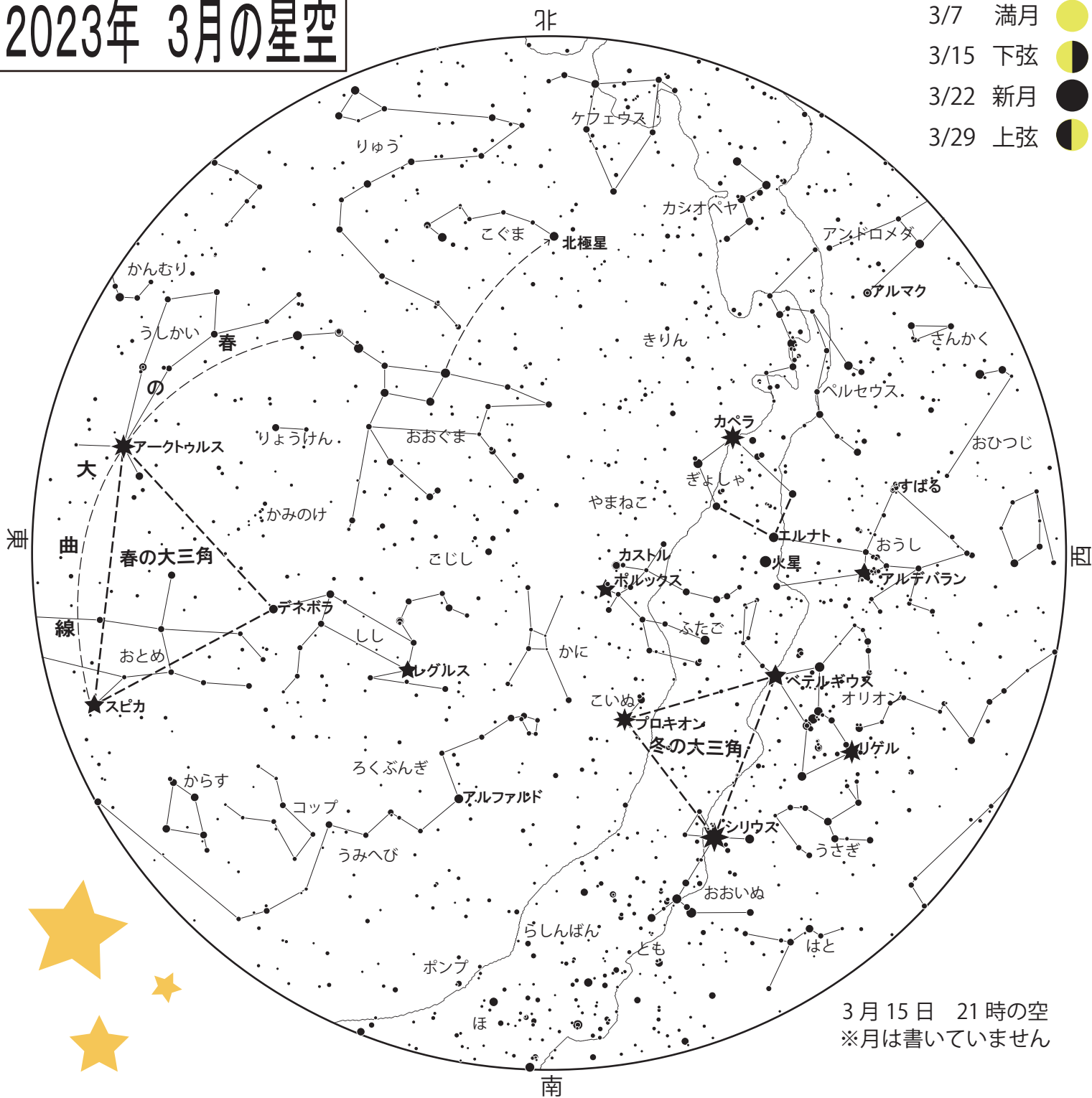


姫路で見る 2023年 3月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 3/7 満月 
- 3/15 下弦 
- 3/22 新月 
- 3/29 上弦 



3月15日 21時の空
※月は書いていません

南西の空には冬の星座が見えています。全天で一番明るい恒星おおおいぬ座のシリウスが目立ちます。シリウスとこいぬ座のプロキオン、オリオン座のベテルギウスを結ぶと「冬の大三角」ができます。他にも、オリオン座のもうひとつの一等星リゲルと、おうし座のアルデバラン、ぎょしゃ座のカペラにふたご座のカストル・ポルックスと明るい星たちが輝いています。冬の星座たちの中で火星が存在感を放っています。おうし座からふたご座へと移動中です。

東の空には春の星座のしし座が見えています。しし座の胸に輝くレグルスは一等星の中で最も暗い星です。しし座のしっぽの星デネボラと、うしかい座のアークトゥルス、おとめ座のスピカを結ぶと「春の大三角」です。北東の空には北斗七星が見えます。おおぐま座のしっぽにある星の並びです。北斗七星からアークトゥルス、スピカを結ぶと「春の大曲線」ができあがります。

少しずつ暖かくなって春の訪れを感じられるようになってきました。星空も冬から春へと変わりつつありますから、季節の変わり目を感じてみて下さいね。